

# 市議会だより おおだ

No.39

2015(平成27)年4月23日発行



▲山陰道「仁摩・温泉津道路」開通式～3月14日 仁摩・温泉津道路が全線開通しました。

## 3月定例会 ～平成27年度一般会計予算可決 3月3日～19日 総額230億900万円～

- 本会議で審議された議案…………… 2
- 一般質問に11人 …………… 8
- 特別委員長中間報告 …………… 14
- 議会報告会開催ご案内 …………… 16

# 3月定例市議会

## 本議会で審議された内容

### 市長提出議案

#### 【予算議案】

##### 〔22件とも原案可決〕

▼平成27年度大田市一般会計予算「賛成多数」

平成27年度一般会計は、対前年度当初比5・6%減の総額230億900万円となっております。

新年度は次の施策を重点事業として取り組むこととしています。

①定住施策の推進(空き家活用対策の充実、地域おこし協力隊員の配置等)

②観光振興施策の推進(観光客受入体制の強化、石見銀山遺跡世界遺産登録10周年に向けての取組等)

③市民の安全・安心の確保(大田市立病院の建替への取組み、小中学校校舎等の耐震補強工事等)

その他、主な新規事業として、「産業振興」では、商店街まちづくり事業、助成事業、畜産競争力強化対策事業、大田市企業立地奨励金、「保健・医療・福祉」では、子どものための教育・保育給付事業、生活困窮者自立相談支援事業、「基盤整備」では、都市公園整備事業、高規格幹線道路等関連周辺

地域整備事業、社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修事業、島根県防災情報ネットワーク整備事業負担金、高規格救急自動車更新事業、防火水槽整備事業、防災ハザードマップ修正事業、「教育・文化」では、小・中学校学校体育館非構造部材落下防止対策事業、「生活環境」では、新不燃物処分場管理運営費、「行財政」では、固定資産台帳整備事業などに取り組むこととしています。

#### 【条例議案】

##### 〔24件とも原案可決〕

▼公益的法人等への大田市職員の派遣等に関する条例制定「全会一致」

公益的法人等の業務に従事させる当市職員の派遣に関する制度等を整備するため、本条例を制定するものとす。

本年4月1日より、一般社団法人大田市観光協会へ、職員を1名派遣していただきます。

▼大田市携帯電話基地局施設設置及び管理に関する条例制定「全会一致」

携帯電話等の移动通信サービスの不感地域を解消し、地域住民の利便の向上や社会経済活動の活性化を図るため、大田市携帯電話基地局施設を設置することに伴い、本条例を制定

するものです。  
この条例により、新たに富山町芦谷と祖式町矢滝に携帯電話基地局が設置されます。

▼大田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例制定「賛成多数」

「地方分権一括法」により、介護保険法の一部が改正され、大田市地域包括支援センターの人員基準や運営基準について、国の示す基準に基づき条例で定めることとされたため、本条例を制定するものです。

▼大田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例制定「賛成多数」

「地域分権一括法」により、介護保険法の一部が改正され、指定介護予防支援等の人員基準や運営基準等について、国の示す基準に基づき条例で定めることとされたため、本条例を制定するものです。

▼大田市教育委員会委員定数条例制定「全会一致」

教育委員会を一層活性化させるため、教育委員会の委員の定数を1人増員し、5人とするに伴い、本条例を制定するものです。

▼大田市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定「全会一致」

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されたことにより、教育長が職務専念義務を負うことが規定され、その免除に関しては条例で定めることとなったため、本条例を制定するものです。

▼大田市教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例制定「全会一致」

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されたことにより、教育長の勤務時間その他の勤務条件は、原則、一般職員の例によることとなったため、これまでの条例を全部改正し、本条例を制定するものです。

▼大田市行政手続条例の一部改正「全会一致」

行政手続法の一部改正に伴い、行政指導の際の、根拠法令等の明示の義務化や、住民からの行政指導の申し出等について、所要の改正を行うもの。

▼大田市職員の給与に関する条例の一部改正「賛成多数」

人事院勧告及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正を踏まえ、給料表の改定、単身赴任手当の改

定、管理職員特別勤務手当の改定につき、所要の改正を行うものです。

▼どがなかな大田ふるさと寄附条例の一部改正「全会一致」

寄附者が幅広い事業から寄附金の使途を選択することができるよう、寄附金を財源として実施する事業に「その他目的達成のために市長が必要と認める事業」を追加するものです。

▼大田市まちづくり推進基金条例の一部改正「全会一致」

前出のどがなかな大田ふるさと寄附条例の一部改正に伴い、寄附金を積み立てた基金の活用内容について、所要の改正を行うものです。

▼大田市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正「賛成多数」

子ども・子育て支援法の施行に伴い、保育料の仕組みが改められたため、所要の改正を行うものです。

▼大田市介護保険条例の一部改正「賛成多数」

介護保険法施行令の一部改正、及び第6期大田市介護保険事業計画の策定に伴い、保険料率の適用期間や、保険料額・所得段階区分等について、所要の改正を行うものです。

▼大田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正「賛成多数」

介護保険法施行規則等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

▼大田市指定地域密着型介護予防サービスに係る指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正「賛成多数」

介護保険法施行規則等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

▼大田市都市公園条例の一部改正「賛成多数」

大田市民球場のスコアボードを電光掲示板に改修するとともに、放送設備の機能を向上させることに伴い、使用料等について、所要の改正を行うものです。

▼大田市手数料条例の一部改正「賛成多数」

長期優良住宅建築等計画の認定申請において、申請者の負担軽減と長期優良住宅の普及を図るため、性能評価書を活用した申請を可能とし所要の改正を行うものです。

1月臨時市議会で審議された内容  
(1月23日)

### 市長提出議案

▼大田市新不燃物処分場整備事業に係る最終処分場建設工事請負変更契約の締結「全会一致」

▼大田市新不燃物処分場整備事業に係る前処理施設・管理棟建設工事請負変更契約の締結「全会一致」

▼大田市新不燃物処分場整備事業に係る浸出水処理施設建設工事請負変更契約の締結「全会一致」

▼大田市新不燃物処分場整備事業に係る最終処分場被覆施設建設工事請負変更契約の締結「全会一致」

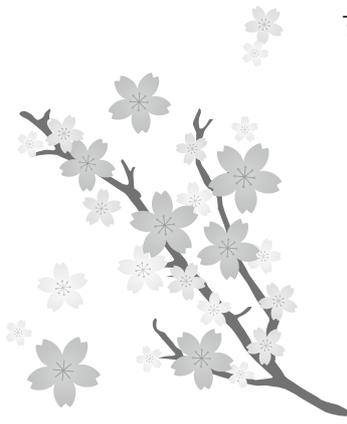
2月臨時市議会で審議された内容  
(2月25日)

### 市長提出議案

▼専決処分(平成26年度大田市一般会計補正予算(第8号))の承認「全会一致」

▼訴えの提起「全会一致」  
▼平成26年度大田市一般会計補正予算(第9号)「全会一致」

▼地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備「全会一致」  
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、大田市職員定数条例ほか関係法規の整備等を図るため、所要の改正を行うものです。



▼大田市立幼稚園保育料条例の一部改正「賛成多数」

子ども・子育て支援法の施行に伴い、保育料の額を改める等、所要の改正を行うものです。

▼大田市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正「全会一致」

現場の実態に即した手当の見直しや人事院勧告を踏まえる等により、看護師確保特別手当の廃止と特殊勤務手当の拡充、管理職員特別勤務手当の改定、医師人事評価に基づく勤め手当の追加を行うものです。

▼大田市立病院看護職員修学資金貸与条例の一部改正「全会一致」

保健師助産師看護師法の一部改正に伴うもののほか、修学資金の返還期間及び方法、返還免除要件となる大田市立病院での従事期間を見直すものです。

▼大田市住民生活に光をそそぐ基金条例の廃止「全会一致」

当該基金は、国の緊急経済対策に伴い措置された基金ですが、平成23年度から3力年で事業が終了し、平成25年度決算が認定されたため、平成26年度末をもって廃止するものです。

▼大田市保育の実施に関する条例の廃止「全会一致」

本年4月1日から子ども・子育て支援法が施行されることにより、保育の実施基準及び保育料については、大田市立保育所の設置及び管理に関する条例に規定されることとなるため、同日に本条例を廃止するものです。

▼大田市民健康保険条例の一部改正「賛成多数」

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の賦課限度額の引き上げ及び軽減判定基準の緩和につき、所要の改正を行うものです。

## 【一般議案】

### 〔5件とも原案可決〕

▼大田市過疎地域自立促進計画の変更「全会一致」

平成22年から、産業振興、生活環境等の整備が計画的に実施されていいますが、新たな事業を計画に搭載する必要のあることから、その変更について議会の議決を求めたものです。

新規事業として、大田市葬斎場整備事業（火葬炉の大型化改修等）が追加されました。

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定「全会一致」

富山町の市道下才坂線改良事業及び山口町の市道三瓶高原線整備事業への携帯電話等エリア整備の追加につき、総合整備計画書への記載が必要であることから、その変更について議会の議決を求めたものです。

▼上村会館の指定管理者の指定「全会一致」

現指定管理者の「上村飯原みんなの会」が、活動の見直し等により組織を解散したことに伴い、新たに設立された「上村会館運営委員会」を指定管理者に指定するものです。

指定する期間は本年4月1日から5年間です。

▼市道路線の認定「全会一致」  
市道認定協議に伴い、久手町の沖の原3号線と久利町の上河原団地線の2路線を認定するものです。

▼新生「大田市」まちづくり推進計画の変更「賛成多数」

東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部改正に伴い、合併後の新市建設計画「新生「大田市」まちづくり推進計画」に基づく合併特例債を引き続き活用するにあたり、本計画を変更する必要があることから、議会の議決を求めたものです。

## 【報告】

▼専決処分事項（損害賠償の報告）

相手方自動車が市道を走行中、歩行者を避けるために側溝上を走行したところ、側溝に設置してあった鉄板が跳ね上がり、ドアを損傷したものです。損害補償額は6万1355円です。

▼専決処分事項（工事委託変更契約の締結）

消防救急無線広域共同整備事業工事委託において、当初の契約を変更する必要が生じたため、負担金59万49600円を増額するものです。

変更の理由は、

- ①無線異常時、瞬時に障害発生が把握できるよう、パトライトを設置
  - ②点検、修繕作業時における中継局との通信を確保するため、IP電話を設置
- 契約の相手方は、島根県知事です。

### 【人事議案】

【同意】

▼教育委員会教育長の任命につき同意を求めること【全会一致】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正による制度の改正に伴い、現職の大國晴雄教育長が3月31日をもって辞職したため、新たな制度のもと4月1日から同氏(長久町)を新教育長に任命することについて議会の同意を求めたものです。任期は3年です。

▼教育委員会委員の任命につき同意を求めること【全会一致】

大田市教育委員会委員定数条例の可決に伴い増員される委員として、福岡信隆氏(久手町)を任命することについて議会の同意を求めたものです。委員の任期は4年です。

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること【3件】【全会一致】

現委員である山根茂樹氏(川合町)、熊谷憲子氏(五十猛町)及び黒谷明司氏(山口町)の任期が6月30日満了のため、その後任として、山根氏を再任、恒松幸子氏(長久町)及び片岡昭之氏(三瓶町)を推薦することについて意見を求めたものです。いずれも任期は3年です。

## 議員提出議案

▼大田市議会委員会条例の一部改正【全会一致】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に併せ、地方自治法が改正されたため、委員会への出席説明を求める者のうち、「教育委員会の委員長」を「教育委員会の教育長」に改めるものです。

## 皆さんの陳情

【不採択・民生委員会付託】

▼介護報酬引き下げ中止を求める意見書提出方

(新日本婦人の会 大田支部長 清水信江)

▼介護保険制度における国庫負担引き上げを求める意見書提出方

(新日本婦人の会 大田支部長 清水信江)

【継続審査・産業建設委員会付託】

▼米価対策の意見書提出方

(島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎)

▼農協改革など、「農業改革」に関する意見書提出方

(島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎)

▼TPP交渉に関する意見書提出方

(島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎)

【継続審査・民生委員会付託】

▼年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書提出方

(全日本年金者組合 島根県本部執行委員長 福岡葵 外1名)

## 全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に  
関し協議・調整を行います

1月23日

- ・大田市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画(素案)について
- ・渡辺家住宅活用の現状について

2月25日

- ・訴えの提起について
- ・大田市次期可燃ごみ処理システムについて
- ・大田市子ども子育て支援事業計画(素案)について
- ・保育所給食への異物混入について(報告)

3月3日

- ・教育委員会制度改革について
- ・大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略等の策定について
- ・地域住民生活等緊急支援のための交付金への対応について

3月9日

- ・「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録10周年事業の概要について
- ・大田市地域公共交通網形成計画(素案)について
- ・温泉津温泉街環境整備事業について(報告)

3月19日

- ・大田市公共施設白書について
- ・第3次大田市行財政改革推進大綱について
- ・平成24年度財務書類について

議員名 議案等	賛成 反対等	河	森	胡	森	小	三	石	松	小	林	内	大	月	木	塩	有	福	石	清	松
		村	山	摩	山	川	浦	田	村	林	藤	西	森	村	谷	光	田	橋	水	葉	
		賢	幸	田	明	和	靖	洋	信	太	茂	芳	修	和	幸	裕	孝	佳	秀	水	昌
		治	太	弘	弘	也	靖	治	之	太	樹	秀	修	弘	司	志	次	代	利	勝	修
議案第76号	17 : 2	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第77号	18 : 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	18 : 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	18 : 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第80号	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	19 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第83号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第122号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第123号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第126号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第127号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第129号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第130号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第131号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第132号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第133号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第138号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第139号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第140号	18 : 0	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	16 : 2	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	15 : 3	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※定数20名、3月議会は出席19名、うち議長は採決に加わりません ※○は賛成 ●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)  
 ※欠は欠席 ※除は除斥(当該議員の一人または利害関係のある議案のため採決等議事には加わりません) ※退は採決時に退席

◇ 1月臨時会提出議案賛否一覧表

議 案 名 等		議決結果
■市長提出議案		
議案第 76 号	大田市新不燃物処分場整備事業に係る最終処分場建設工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第 77 号	大田市新不燃物処分場整備事業に係る前処理施設・管理棟建設工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第 78 号	大田市新不燃物処分場整備事業に係る浸出水処理施設建設工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第 79 号	大田市新不燃物処分場整備事業に係る最終処分場被覆施設建築工事請負変更契約の締結について	原案可決

◇ 2月臨時会提出議案賛否一覧表

■市長提出議案		
議案第 80 号	専決処分（平成 26 年度大田市一般会計補正予算（第 8 号））の承認について	承認
議案第 81 号	訴えの提起について	原案可決
議案第 82 号	平成 26 年度大田市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決

◇ 3月定例会提出議案賛否一覧表

■市長提出議案		
議案第 83 号	平成 27 年度大田市一般会計予算	原案可決
議案第 84 号	平成 27 年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第 85 号	平成 27 年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	原案可決
議案第 86 号	平成 27 年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案第 87 号	平成 27 年度大田市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第 88 号	平成 27 年度大田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第 89 号	平成 27 年度大田市生活排水処理事業特別会計予算	原案可決
議案第 90 号	平成 27 年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	原案可決
議案第 91 号	平成 27 年度大田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第 92 号	平成 27 年度大田市大田市駅周辺土地地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第 93 号	平成 27 年度大田市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第 94 号	平成 27 年度大田市水道事業会計予算	原案可決
議案第 95 号	平成 27 年度大田市病院事業会計予算	原案可決
議案第 96 号	平成 26 年度大田市一般会計補正予算（第 10 号）	原案可決
議案第 97 号	平成 26 年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 98 号	平成 26 年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 99 号	平成 26 年度大田市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 100 号	平成 26 年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 101 号	平成 26 年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 102 号	平成 26 年度大田市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 103 号	平成 26 年度大田市水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 104 号	平成 26 年度大田市病院事業会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 105 号	公益的法人等への大田市職員の派遣等に関する条例制定について	原案可決
議案第 106 号	大田市携帯電話基地局施設設置及び管理に関する条例制定について	原案可決
議案第 107 号	大田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例制定について	原案可決
議案第 108 号	大田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例制定について	原案可決
議案第 109 号	大田市教育委員会委員定数条例制定について	原案可決
議案第 110 号	大田市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定について	原案可決
議案第 111 号	大田市教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例制定について	原案可決
議案第 112 号	大田市行政手続条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 113 号	大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 114 号	どがなかな大田ふるさと寄附条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 115 号	大田市まちづくり推進基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 116 号	大田市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 117 号	大田市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 118 号	大田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 119 号	大田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 120 号	大田市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 121 号	大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 122 号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決
議案第 123 号	大田市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 124 号	大田市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 125 号	大田市立病院看護職員修学資金貸与条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 126 号	大田市住民生活に光をそそぐ基金条例を廃止する条例制定について	原案可決
議案第 127 号	大田市保育の実施に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決
議案第 129 号	大田市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第 130 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
議案第 131 号	上村会館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第 132 号	市道路線の認定について	原案可決
議案第 133 号	大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第 134 号	新生「大田市」まちづくり推進計画の変更について	原案可決
議案第 135 号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	異議なし
議案第 136 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	異議なし
議案第 137 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし
議案第 138 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし
議案第 139 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし
■議員提出議案		
議案第 140 号	大田市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
■陳情		
陳情第 2 号	介護報酬引き下げ中止を求める意見書提出方について	不採択
陳情第 3 号	介護保険制度における国庫負担引き上げを求める意見書提出方について	不採択

# いっぱん質問



市政に対する一般質問は、3月5日、6日に行われ、11人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(これまでの内容は、ホームページ(アドレスは1ページ下段に掲載)で閲覧できます。)

▲山陰道開通祝賀パレード「大足半(おおあしなこ)練り歩き」(仁摩町馬路地区 池月会)

## 認知症対策の今後の取り組みは

認知症簡易チェックサイト導入に向け協議していく



石田 洋治 議員

### 質問

国はこのほど認知症対策に総合的に取り組む「新オレンジプラン」を策定した。中でも、認知症の早期診断・対応のため、医師などが自宅訪問する「認知症初期集中支援チーム」を2017年度末までにすべての市町村に設置する目標を掲げた。本市の認知症対策について、また、認知症簡易チェックサイトの導入について伺う。

### 答弁

本年1月、認知症施策推進総合戦略、通称、新オレンジプランが策定された。この新オレンジプランのポイントは、医療、介護等の連携による認知症の方への支援、認知症の予防、治療のための研究開発、認知

症高齢者

等に優し

い地域づ

くりの3

点である。

本市に

おいては、

地域包括

支援セン

ターで、認

知症の発

見にもつ

ながる基

本チエッ

クリスト

の活用やかかりつけ医の診察により

認知症の早期発見、早期対応に取り組

んでいる。早期発見のために、認知症

簡易チェックサイトの活用はその一

つと考える。認知症チェックサイトが

活用されることにより、相談件数の増

加が予想され、チェックサイトの導入

と同時に、相談体制の充実も必要であ

る。今後、認知症に係る医療、介護の専

門機関、大田認知症家族会等と導入に

向け協議していく。



▲キャラバンメイト(認知症サポーター養成講座の講師)の養成研修

## 市長の施政方針に対し、生活弱者層や 限界集落への支援事業の拡充を求む

ひと・まち・しごと地方創生関連事業で活性化に向け取り組む



清水 勝 議員

り組む。

一例として、景気回復及び地域の活性化を図るための特典つき商品券の販売事業や大田市産品の販路拡大重点支援事業などを展開する。

生活弱者等への支援に関しては、新規事業として生活困窮者自立相談支援事業を実施し、臨時福祉給付金等も継続実施する。

また、周辺地域対策は、防災や生活支援、集落維持、交通弱者対等の課題解決に向け、財政支援、人的支援、さらに集落支援員や地域おこし協力隊員の配置を行っていく。

大田市においては、まち・ひと・しごと創生事業が要所で示されているが、経済の好循環をつくり出すため、継続性を備えた生活弱者層への支援事業や、周辺地、過疎地、100を超える限界集落への緊急創生支援事業の拡充を求めて伺う。

### 答弁

アベノミクス効果が実感できず、状況ではないが、地方創生、地域経済の活性化に向けさらに取

さらに、平成27年度は、新たに交通空白地対策や交通弱者対策のためデマンド型交通等の実証実験を予定し、買い物物の支援についても、引き続きお買



▶お買い物サポート事業 (湯里地区)

## 市長の施政方針、中でも観光振興を問う

観光振興は重要な柱の一つと位置づけている



小林 太 議員

域がみずからプログラムを企画し、情報発信する、いわゆる新しい観光の形態である。着地型観光は、当市においても地域振興につながると期待している。

②世界遺産登録10周年に向けて利用促進を通じた誘客施策について大田市駅及びJR西日本米子支社と協議を行っていく。

③今後も集落支援員、地域おこし協力隊員ともに、まちづくりセンターや公共的団体からの要望に基づき、受け入れ態勢の整ったところから配置を進めていく。配置規模については、少なくとも各ブロックにそれぞれ1名を配置したいと考えている。

②山陰道全線開通までの間、もう一つの幹線であるJR線を活用した誘客策を島根県や関係市町村と進めるべきと考えるがいかがか。

### 質問

①夢と実効性のある「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定は今後の施政の柱と考える。中でも観光振興、とりわけ着地型観光の位置づけを問う。

### 答弁

①観光振興は重要な柱である」と認識している。来年度策定する地方版総合戦略においても、柱の一つと位置づけている。それぞれの地



▲JR 西日本大田市駅

## 生活交通確保対策の成果は

持続可能な公共網の形式となるよう努力していく



森山 明弘 議員

**質問** 生活交通の確保対策について、大田市総合計画後期計画の中で、「暮らしを支える生活交通の確保」の対策として、生活交通システムの再編がうたわれている。5項目それぞれのこれまでの成果を伺う。

**答弁** ①平成21年度にバス業者から大屋線、富山線、山口線、三瓶線の一部について廃止通告を受けたが、島根県、関係自治体と連携して、事業者への路線存続の働きかけを行い路線の維持を図っている。  
②平成20年度から湯里地区において相乗りタクシー制度を開始しており、現在約80名の登録がある。市として

は、運営協議会の立ち上げ時に支援を行っており、交通空白地の移動手段を地域全体で支えている優良事例である。

③通学に路線バスを利用する仕組みとして、平成23年度に富山地区においてスクールバスを廃止し、小・中学生が路線バスを利用している。また、平成25年度温泉津地区においても、中学生が路線バスを利用している。このことでバス運行の収支が改善している。

④現在、市で取り組んでいる福祉タクシーは、障がい者を対象に500円の利用券を年間1人につき24枚交付している。平成25年度は454名の方に交付し、利用率は60%となっている。

⑤地区社会福祉協議会で相乗りタクシー制度を運営している例はあるが、自治会等による輸送の支援活動の例はない。



## 大田市駅東側まちづくり事業の

## 今後の展開は

引き続き関係機関と連携を図る



内藤 芳秀 議員

**質問** 大田市駅東側まちづくり事業の延期の理由と延期の期間について伺う。

**答弁** 当初は、平成27年度に土地区画整理事業の都市計画変更決定を行い、平成28年度の事業認可から平成35年度完成までの8年間を予定し、総事業費は概算で約30億円を見込んでいた。しかし、依然地方経済や地方行財政をめぐる情勢が厳しい中、病院建設や新たに大きな課題となっているファシリティーマネジメント

（既存公共施設の改修、解体、新設、運営等、多額の財源を必要とする課題に対処し、健全な財政運営を進めていくには、本事業の延期を決定せざるを得ないと判断するに至った。

今後、事業全体を3年間スライドして実施したいと考えている。現在、事業費同いただいた区域については、土地区画整理事業の計画変更に向けた作業、あるいは関係する都市計画道路の変更手続に着手している。

また、地権者の皆様、関係自治会、関係団体、あるいは関係機関と連携を図りながら、事業実施したいと考えている。



▲大田市駅周辺東側地区

# 安心して住み続けるために、 改めて平和憲法を問う

時代の要請に即し、新たな課題の対応にも迫られているが、憲法改正は国民議論が大切である



福田 佳代子 議員

## 答弁

日本国憲法は、戦争放棄をうたった世界に類を見ない理念を持ち、国際的にも平和憲法として世界各国から評価されていると認識している。

一方、憲法施行以来、国際情勢も大きく変化してきている。時代の要請に即し、新たな課題の対応も迫られていることも事実であり、政党や団体から憲法草案がいくつも発表されている。こうした状況から、安倍内閣において閣議決定により憲法解釈を変更されたところである。

憲法は我が国の最高法規であり、改正については国民議論を十分に深めることが大切であると考えます。

## 質問

「住みたい田舎」ベストランキングで1位となった大田市、安心して住み続けるためには、平和でなくてはならない。ところが、安倍政権の集団的自衛権行使容認は、市民の願いを踏みにじるものとなっている。全国7000余りに広がった9条の会は、改憲の企てを阻むためあらゆる努力をしようと訴えている。今改めて平和憲法について伺う。



▶非核平和宣言都市の標柱（大田市民会館前庭）

# 大田市の観光振興の進捗状況と 今後の取り組みは

社会状況を踏まえ、新たな観光計画の充実を図る



三浦 靖 議員

携する中で、情報発信にも努めてきた。また、外国人観光客の誘客に向けて観光協会に観光プロデューサーやコーディネーターを配置し、大田市観光の中核組織になるよう、その充実強化の支援を行ってきた。

新観光計画策定から6年が経過した今日、高速道路網の整備や情報通信技術の進歩によりインバウンドの取り組みを拡大するなど観光を取り巻く環境も変化し、世界遺産10周年記念事業や道の駅の計画など新たな要素も加わってきた。

今後、石見銀山、三瓶山をはじめ大田市全体の観光振興を図るため次期産業振興ビジョンの策定に向けた基礎調査などをもとに具体的な観光実施計画として、28年度に策定予定である。

大田市観光協会は本年4月に法人化する予定であり、6つの支部に観光課と観光協会がかけ、意見交換をし活動を充実していく。

## 質問

平成21年6月に策定された大田市新観光計画の進捗状況とこれまでの評価について問うとともに、情報通信技術の進歩や社会的環境の変化に即応し、より具体的な実施計画にリニューアルする必要性があると考えますが所見を伺う。

また、大田市観光協会の社団法人化に向けた取り組み状況と各支部との連携について伺う。

## 答弁

ガイドツアーや、おもてなし研修などソフト事業に加え、案内看板や遊歩道の整備などを実施した。また、三瓶に新しく取得した施設の有効活用に努め、周辺市町と連



# 来年度策定される「まち・ひと・しごと 地域創生総合戦略」を問う

地域創生総合戦略は総合計画・過疎計画の基本と考える



松村 信之 議員

など親子間の支え合いも期待できることから、導入に向けて検討していく。

広域連携については、観光面において、三瓶周辺や石見圏域、松江・出雲圏域自治体との連携、さらには県境を越えた山陰都市連携など、既に広域的な取り組みを進めている。この度の地方創生に向けた新たな取り組みについても、諸課題の解決を図る上で有効と考えられる場合には、他の自治体等との連携を積極的に行っていく。

**質問** 第2次定住促進「ビジョン」を基に「人口減少問題」と「定住対策」を踏まえ、来年度策定される「まち・ひと・しごと地域創生総合戦略」について伺う。  
定住対策では、転出者を食い止める策として、田舎ならではの家族構成つまり3世代同居家族への支援策あるいは近居家族への支援策を検討してはどうか。  
また地域創生総合戦略では、将来においてどの地域と広域性を計るのか。

**答弁** 3世代同居や親子の近隣居住の促進については、若者定住の促進だけでなく、子育てや介護



▲三瓶山と浮布池

# 学校給食とコメ消費拡大、食育の推進を

保護者、生産者等関係の皆様方と話し合いを進め検討していく



胡摩田 弘孝 議員

用している。さらなる米飯給食の拡大については、保護者、生産者等関係の皆様方と丁寧な話し合いを進め、今後検討していきたい。

②市内産食材の地産地消率は、年々向上してきており、平成25年度には県内3位となる50・0%となっている。引き続き地産産食材の利用促進を図っていく。

**質問** 日本型食生活の良さを児童生徒に伝えるためにも、大田市も積極的に地産地消や特産品の活用、地元のお米の良さを知っていただく情報発信や利用拡大を進めていく必要があると考え、以下3点について伺う。  
①学校給食への米飯給食の拡大について。  
②給食センターにおける地場産の割合。  
③食育教育の現状。

**答弁** ①現在、学校給食センターでは、1日平均約3000食の給食を提供しており、米飯を週3回、大田市産100%のおいしい米を使

③学校給食センターでは、給食時に栄養教諭等を週1回から2回、市内の小・中学校等に派遣し、学校給食を通して地産地消の意義を伝えたり、作物を育てる喜び、生産者への感謝の気持ちを育むことなどを目的とした食育を行っている。



▲生産者代表による給食センター訪問  
～栄養バランスを考えた献立の試食

## 離農を進めないための、 農業生産者への支援は

持続的な農業につなげる視点を持って経営安定に向けた支援を行っていく



大西 修 議員

る循環型栽培システムの構築による米価向上対策、飼料米や稲発酵粗飼料生産の取り組みによる所得向上対策などを中心に、積極的に水田利用の促進を図る。

また、家族経営体を含めた小規模な農業者の経営に対しては、品種転換等による米の品質改善を行いながら、状況に応じて水稻からの作付転換を図り、多面的機能支払いを始めるなど、日

### 質問

2014年産米価格は、異常な低価格で推移している。農業生産者は、労賃はもとより物品費さえ出ない。このままでは、離農が進み地域農業の維持に深刻な影響が出る。

今、大切なことは、地域に根を張り頑張っている産業を応援し、支援してこそ、地域再生を図ることができる。農業の担い手と家族経営者への支援について伺う。

### 答弁

担い手層、家族経営体などさまざまな農業者に対して、持続的な農業につなげる視点を持って経営安定に向けた支援を行う。

担い手層に対しては、堆肥使用によ

る循環型栽培システムの構築による米価向上対策、飼料米や稲発酵粗飼料生産の取り組みによる所得向上対策などを中心に、積極的に水田利用の促進を図る。

また、家族経営体を含めた小規模な農業者の経営に対しては、品種転換等による米の品質改善を行いながら、状況に応じて水稻からの作付転換を図り、多面的機能支払いを始めるなど、日

本型直接支払制度の活用による農家収益の下支えを行う。併せて各地域における集落営農組織設立のいっその推進と経営強化促進などの生産体制強化を支援する。



▶野菜のハウス栽培(烏井町)

## 産業振興ビジョンのこれまでの評価と 実績を問う

一定の成果を踏まえさらに適進する



有光 孝次 議員

う人材の育成の6つの柱に基づきマイドイン大田創出支援事業、石州瓦等利用促進事業など実行プランとして取り組んだ。

こうしたことで、地場産業の活性化や観光振興、あるいはIT企業の誘致実現、そして6次産業化の新たな展開など、一定の成果は得られたと思っている。

### 質問

石見銀山遺跡の世界遺産登録を千載一遇のチャンスと捉え、新たな産業振興策の方向性と戦略を明らかにして「産業活力みなぎるおおだ」をつくるための、産業振興ビジョンがつけられ8年が経過した。同ビジョンの計画期間も、残すところ2年となり、これまでに実施された諸事業や組織、展開方法についての評価と実績を伺う。

### 答弁

大田市産業振興ビジョンは、大田ブランドづくり、石見銀山遺跡の世界遺産登録を見据えた交流人口の拡大、新産業の創出、循環型社会の構築、企業誘致、次世代を担

しかし、依然地域経済をめぐる情勢は厳しく、魅力ある雇用の場が十分とは言えない状況である。

現状の課題を再整理しながら、新たな産業振興ビジョン策定に向けて取り組んでいく。



▶おおだブランド認定商品パンフレット

## 行財政改革特別委員長 中間報告



三浦 靖  
委員長

昨年の12月定例会終了後、2月5日に第9回の委員会を開催した。

協議題は「第3次大田市行財政改革推進大綱(案)」についてである。執行部の概要説明の後、質疑に入った。

主な質疑は次のとおり。

『第3次大綱の策定過程における内部協議の様子と次期総合計画との整合性は?』

↓ まず行革に関する各課の素案を取りまとめ、原案を作成。課長クラスで構成する庁内の横断的な幹事会における幅広い視点での議論を経て、副市長を本部長とする推進本部会議の意見を踏まえ、最終的に取りまとめ作業を行った。

次期総合計画は平成27・28年度の2か年で策定予定であるが、行革大綱との整合性を図りながら進め、必要に応じて随時見直しを図る。

『行革による、これまでの削減・効果額と職員人件費はいくら?』

↓ 平成17年度から25年度までの1次・2次行革あわせて総額約41億円の効果が達成できており、そのうち人件費の抑制分は約11億円である。平成26年のラスパイレス指数(※)は99・2%で、県下2番目に高い水準になった。

『職員の人材育成は?』

↓ 第3次大綱では、職員研修の充実や職員提案制度の活用、女性職員の積極的な政策立案への参加などを掲げており、質の高い市民サービスの実現に向けて鋭意努める。

委員からの意見として、『これまで定員管理や人件費の抑制による削減効果額にばかり注視していたため、職員のモチベーションの低下が懸念される。また市民から、職員の接遇に関して厳しい声もあるので、今後は職員の意識改革と接遇向上を重点課題として捉え、使命感と情熱をもって行政サービスに従事していただき、市民満足度の向上を目指すべき』という声もあった。

以上、中間報告とする。

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100として、地方公務員の給与額を比較して算出される数字。

## 大田市立病院医療体制検討 特別委員長中間報告



月森 和弘  
委員長

地域の医療を守り支え、大田市立病院の医療体制の充実および新病院建設などについて検討・意見具申を行うため、9月定例会最終日に議長を除く議員19名により設置された大田市立病院医療体制検討特別委員会を、議会閉会中に3回開催したので報告する。

### 第1回委員会

を11月7日に開催して正副委員長の互選を行い、委員長には私、月森和弘(大田町)が、副委員長には石田洋治委員(久手町)が選任された。

その後、委員会の進め方について協議し、本委員会と民生委員会の役割分担、市立病院の経営状況、新病院建設の構想等を協議していくこととした。

### 第2回委員会

は12月15日に開催。執行部から、経営状況、経営健全化に

向けた取り組み、新病院建設に向けた準備状況についての説明を受けた。主な質疑として、「経営健全化」には医師確保が必要ではないかという問いに、「医師確保が病院経営にとつては大きな課題である。島根大学と連携した総合医育成センターの取り組みは有効であり、若手の研修医が来ることで先輩医師のモチベーションが上がるなど、好循環している。」との答弁があった。

また、「新病院建設に向けた庁内挙げての取り組みについての考え方はどうか」という問いに、「大規模工事であるので、権限と責任を明確にする必要から、市の建設技術者を病院職員として配置し、設計会社とともに監理する。」

「免震構造にした理由は」の問いに「市立病院が災害拠点病院としての役割・機能を十分発揮するため。」という答弁があった。

主な意見として、①造成工事の工事スケジュールをしっかり管理すること、②建設地は軟弱地であるためしっかりとした対策を講じること、③事業費16億円削減の内容について再説明を求めること、④新しいレイアウトの中に薬局が設置されるよう配慮されたい、などの意見が出された。

### 第3回委員会

は2月25日に開催。執行部から、新病院に向けた医療提

供体制を整えるため、医師の人事評価制度導入の検討、看護職員確保のための職場環境の改善を進めることについて、新市立病院建設事業の状況についての説明を受けた。

主な質疑として、「整形外科の見通しはどうか」の問いに、「近隣の病院の現状を見ても厳しい状況であるが、あらゆる情報を集めながら確保に努めたい。」

「医師・看護師の新たな手当の試算は」の問いに、「医業収益の0.5%程度を医師評価に充てたい。」

「不調等で工期がずれた時の影響はどうか」の問いに、「工期が適正か、県の支援を受けながら期間を決めたい。補助金が変わらないよう県と連携していく。」との答弁であった。

主な意見として、①人事評価は、評価委員の公平・公正・中立な立場で実施すべき、②経営において民間の手法を取り入れ、分配できる経営をめざしていただきたい、③自治体病院として経営できるよう、市においても責任を持って応援されたい、④工事が延期されないよう努められたい、などの意見が出された。

地域に根ざし、地域から信頼される病院となるためにも、これらの意見を真摯に受け止めていただき、今後の事業運営や新病院建設に向けて対応されることをお願いし、以上、中間報告とする。

## 反対・賛成討論(要旨) 【平成27年度一般会計予算】

定例会最終日の表決に先立って行われた反対・賛成討論の要旨は次のとおりです。

### 【反対討論】



大西 修 議員

昨年4月に消費税が増税され、年間の負担額は大幅に増えている。地方自治体は、市民のへうしと福祉を守る防波堤の役割をしっかりと果たさなければならぬ。

今予算に反対する主な理由は次のとおり。

1 点目は商店街まちづくり事業助成事業や企業立地奨励金など、一過性の事業でなく、市民の懐を直接温める政策が必要である。

住宅リフォーム等促進事業は好評であったが、終了するのは残念である。

2 点目は子どもたちのための教育・保育給付事業。保育料の算定方法が変更されることにより保育料が引き上げられる保護者に対して支援すべき。

3 点目は生活困窮者自立相談支援

事業。社会福祉協議会への委託でなく、地方自治体の責任として、市が直接実施すべきである。

4 点目は次期可燃ごみ処理システム調査検討事業。邑智郡総合事務組合との広域処理と決められているが、自分の出したごみは自分で処理すべきであり、単独処理を選択し、徹底した分別リサイクルを進めるべきである。

5 点目は新不燃物処分場整備事業。多額の財源を費やした。住民合意に時間をかけるべきではなかったかと考える。

以上、反対討論とする。

### 【賛成討論】



小川 和也 議員

本年、新生「大田市」合併10周年を迎える。この間、「大田市総合計画」を基調としながら、各種施策に取り組み一定の成果もあげられたが、今後さらに実践可能な諸施策を展開し、「協働のまちづくり」を推進することが重要であると考えている。

新年度予算は対前年度比5.6%減で、依存財源に頼らざるを得ない歳入の状況は深刻であるが、①定住対策の推進、②観光振興施策の推進、③市民

の安心・安全の確保を重点事業の柱に掲げ、見直すべき事業は見直し、時代の流れに沿った新規事業も組み入れられていることは、高く評価し期待するものである。

大型事業を進めつつ、財政の健全化を常に見据えた、適正な予算規模であると感じている。

主要施策の主な事業について、観光振興策では、魅力ある地域資源を生かした「観光産業」の具体化が盛り込まれており評価できる。

地域医療では、総合医療学講座事業や新病院建設など、引き続き医療環境・体制の充実、医師確保に最大限の努力を求めます。

「山陰道 仁摩・温泉津道路」が全線開通となったが、道路維持事業や地域交通対策事業など市民生活に必要な不可欠な基盤整備の確実な成果と柔軟な取り組みを期待する。

教育行政に関しては、児童・生徒の学力向上のための各種事業や、全ての児童・生徒に教育が行き届くよう支援事業への積極的な取り組みを評価する。

可燃ごみ等の処理については、速やかな施策の展開としっかりとした調査検討などに努められたい。

市民総参加型で創出する「オール大田」の行政展開に向け、いっその努力をお願いし、賛成討論とする。

『開かれた議会づくり』  
『市民の皆様の積極的な参加』を進めるため

# 議会報告会を開催します!

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成24年度より実施しております議会報告会を、今年度も下記の日程で開催します。  
総務教育委員会、民生委員会、産業建設委員会の各常任委員会ごとに、3月市議会定例会での当初予算審議状況等について報告いたします。議会を身近に感じていただける機会です。是非お出かけください!

## 【日時・会場】

開催日はいずれも**5月23日(土)**です。

場 所	時 間
大屋まちづくりセンター	19:00~20:30
波根まちづくりセンター	19:00~20:30
五十猛まちづくりセンター	19:00~20:30
北三瓶まちづくりセンター 多根分館	13:30~15:00
祖式まちづくりセンター	13:30~15:00
福波まちづくりセンター	13:30~15:00
馬路まちづくりセンター	19:00~20:30

会場の指定はありませんので、どの会場にでもお出かけください。



大代まちづくりセンター

## 昨年度の様子



井田まちづくりセンター



久利まちづくりセンター

## 議会傍聴のご案内

次の定例会は**6月2日~15日**の予定です。  
市議会を身近に感じる良い機会です。  
お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

## 編集後記

新年度がスタートしました。早いもので本年10月には、1市2町の合併による新生大田市が誕生して10周年を迎えます。様々な記念事業も予定されていますので、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

この平成の大合併により3000以上もあった全国の市町村数が1718(平成26年4月)にまで減少し、さらに少子高齢化と過疎化が著しく進んだため、都市と地方の格差は広がるばかりです。そんな中、政府が掲げる地方創生は、自主性・主体性を発揮し、特色ある地域再生に取り組み自治体には物心両面で支援してくれるというものです。今こそ「日本一住みたい田舎」大田市の知恵と創意工夫が試されている時です。

(三浦 靖)

## 広報広聴委員会

委員長 河村 賢治  
副委員長 石田 洋治  
委員 大西 信之  
委員 松村 信之  
委員 三浦 靖  
委員 小川 和也  
委員 森山 明弘  
委員 森山 幸太